

## 受賞者のその後の取組（平成 29 年現在）

<b>平成20年度 経済産業大臣賞 受賞</b>	受賞者名	株式会社ローソン
	所在地	東京都品川区
	受賞テーマ	つねにバッグやお箸を持ち歩く「ケータイ運動」の推進
	1. 活動継続 あり	<p>多くのお客さまにバッグを携帯していただくために、2007 年 3 月から一部のローソン店舗でケータイバッグの無償配布をスタート。その後、マルチメディア情報端末「Loppi（ロッピー）」での販売や店頭での販売（店頭販売は終了）、さらにバッグの仕様を公開して賛同企業を募り、社外での普及も進めている。これら取り組みの結果、運動をスタートして 10 年（2017 年 2 月末日現在）で配布総枚数は約 438 万枚となった。</p> 
2. 活動の広がり あり	<p>ケータイバッグはローソン店舗及びグループでの配布（約 367 万枚）のみならず、企業や団体のご協力により約 71 万枚を配布し、トータルで約 438 万枚が普及した。</p>	
3. 活動の進化 あり	<p>シールを集めて景品がもらえるキャンペーンの景品の一つとしてケータイバッグを制作し、このバッグを持参してお買い物されたお客さまに共通ポイントプログラム「Ponta」のポイントを期間限定で 1 ポイント提供する取り組みも 2012 年から 2013 年度にかけて実施した。</p>	
4. 今後の計画	<p>今後も継続してケータイバッグの普及に努めていく。</p>	

（次頁に表彰概要掲載）

## 【表彰概要】

同社は、エコバッグと携帯箸の普及を通じてレジ袋と割り箸を削減する「ケータイ運動」を実施している。

### ●ケータイバッグ「コンビネecoバッグ」によるレジ袋削減

他社に先駆けてコンビニエンスストア用エコバッグを開発し、2007年3月から霞ヶ関、大手町の一部店舗で配布を開始した。購入頻度の高い弁当とPETボトルがぴったり収まる形状で、畳むとポケットに収まるコンパクトなサイズとした。バッグは普及のために販売ではなく配布しており、バッグの仕様を公開して賛同企業を募り、店舗以外での普及も推進している。

また、自治体との包括協定締結の際には独自デザインのエコバッグ作成を支援し、長野県、香川県、埼玉県、大分県水サミット、北海道洞爺湖サミット等のオリジナルエコバッグを作成・配布した。



ケータイバッグ「コンビネecoバッグ」  
(PETボトルと弁当がぴったり収まるサイズ)

### ●ケータイお箸「みどりのかけ箸」による割り箸削減

割り箸の削減を目指し、2007年4月にケータイお箸「みどりのかけ箸」の普及を開始した。この携帯箸は、野球のバットに使用されるアオダモの不適格材を有効活用したもので、会員カードのポイント交換で2007年4～6月の3ヶ月間、毎月1,000名に進呈したほか、店頭のマルチメディア情報端末「Loppi」での販売、社員への配布、賛同企業の協力等により、約2万膳を普及した。



野球バット材料の不適格材を活用した  
ケータイお箸「みどりのかけ箸」